

えちごこまがたけ コース 34 越後駒ヶ岳

リーダー CL K/T SL M/T

実施日 平成22年10月9日(土)、10日(日) 天候 小雨と曇り

参加者 17(男性 5 女性 12)

グレード C上~D

コースポイント

ポイント	到着時間	出発時間	備考
9日 区役所前		9:00	出発地は新津駅西口 8:50
銀山平、荒沢溪谷	11:25	13:55	入口管理棟で昼食約1時間、溪谷は途中まで車が入る。九層以上の滝。スノーブリッジの残雪など見事。
同、伝之助小屋	14:05		
10日 伝之助小屋		4:30	掛け流しの温泉と山菜料理
枝折峠登山口P	4:50	5:05	駐車場は様変わり。既に大勢の登山者が待機。
百草の池	9:00	9:05	朝食は、明神峠と道行山の2回に分けて摂る。
駒の小屋	10:35	10:40	百草の池過ぎてから小雨模様。小屋に荷物を置いて行く。
駒ヶ岳山頂	11:05	11:15	霧雨とガスの中、予定より30分早く登頂
駒の小屋	11:30	12:15	小屋に入れてもらい、昼食と身支度を整える。
百草の池		13:15	小屋直下の岩場も無事通過
枝折峠登山口P	16:35	16:55	他の大型バスは既になかったが、他の車5~6台はまだ残る。
区役所前	19:30		新津駅西口 19:40 予定より約1時間余早く帰着

山行等概要(幹事のコメント)

- ・当初参加予定者は20名だったが、3名キャンセルで17名の山行となった。
- ・1日目の荒沢溪谷奥の展望台からの眺め(本城滝と残雪や岩磐の風景)は中々良かった。
- ・宿泊の伝之助小屋。会としては先回平ヶ岳以来の2回目だったが、改装してすっかり良くなった。
- ・この日駒ヶ岳へ登ってきた一団体と一緒になったが、山は雨と強風だったとか、その中を良くまあ登山して来たものと感心すると共に、明日への意気込みを与えられた。
- ・2日目、登山口(枝折峠)へ着いた時は未だ真っ暗にもかかわらず、大型バス他大勢の登山者が詰めていたのにびっくりした。百草の池を過ぎて岩稜の尾根にかかる辺りまではガスがかかるだけ、その後は小雨模様となったが、駒の小屋にザックを置いて、全員、順調に駒ヶ岳山頂を踏むことが出来た。「さすが100名山、中々簡単に登らせてくれない」などと言いながらの長丁場であったが、参加者全員が無事達成感を味わうことができた。その後、下山も無事故で、山行を終え、リーダーとして肩の荷を降ろすことができた。



日本百名山 越後駒ヶ岳山頂

「越後駒ヶ岳山行に参加して」

(1401) E/T

個人では行くことを考えた事がない山なので、とても楽しみにしていた山行であった。9日朝、小雨が降る中、新津を出発。銀山平荒沢溪谷入り口に到着しても雨は止まず、昼食をゆっくり食べてから、傘をさして溪谷散策となった。展望台に着くと、目の前に残雪とその下を何段にも流れ落ちる滝が現れた。美しい滝、色づき始めた木々や岩盤、荒沢岳の登山道をしばし鑑賞。予定より早く、伝の助小屋に到着。

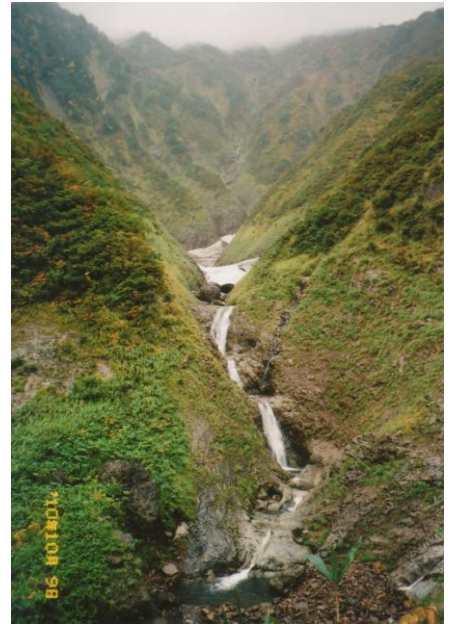
小屋では、掛け流しの温泉に順番に入る。男性陣は、道路を挟んだ向かい側の別棟で、お風呂や食事は道路を渡ってだったので、少し不自由だったかもしれない。夕食は心のこもった山菜尽くしの料理で、とても美味しく頂いた。明日の天気を気にしつつ7時半に就寝。

翌10日、雨の中を枝折峠にバスで向かう。『行ける所まで、行く』というリーダーの判断で、登山口で登る準備をしていると雨が止んだ。ヘッドランプを点けて出発。だんだん白んできると、周りの山々、谷の雲、街の灯りが見えてきた。このまま降らずにいてと祈りながら登る。明神峠で軽い朝食。しばらく下りが続き、道行山への登りとなる。眺めが良い道行山山頂（登山道から少しそれる）で、2回目の朝食。ここからまた一旦下って登りになり、小倉山に到着。休憩時には、体力温存を考え行動食をしっかり摂る。また、急登になると、後方からタイミング良く「登らせたまえ〜♪」と掛け声が届き、元気付けられる。やがて百草の池に到着。

紅葉を愛でながら山頂の眺望に期待しつつ登ったが、途中からガスがかかって視界がきかなくなり、それが小雨に変わった。岩場の急登を登りきると、駒の小屋が目の前にあった。荷物を小屋に預け、山頂へ。途中、コバイケソウの花殻の群落があり、花の時季は見事だったのだろうと想像する。山頂は残念ながら眺望はきかず、記念写真を撮って下山し、小屋で昼食。

雨が少し強くなり、小屋に沢から引いている水の勢いが強くなっている。その水が流れ下る岩場は、更に滑り易くなっているため、細心の注意を払いながら下山する。小屋を出てから、4時間20分無事下山。長丁場の山行で不安もあったが、無事帰って来る事が出来、リーダー、同行の方々、そしてずっと待機しておられたドライバーに感謝！

初めて1泊の山行に参加させて頂き、日帰りでは味わえない楽しさもあり、良かった。



荒沢溪谷の展望台より本城滝と残雪のスノーブリッジを望む